



平成25年10月31日

各 位

上場会社名 TOWA株式会社  
 代表者 代表取締役社長 岡田 博和  
 (コード番号 6315)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 田村 吉住  
 (TEL 075-692-0251)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	200	190	120	4.80
今回修正予想(B)	8,328	67	100	52	2.08
増減額(B-A)	328	△133	△90	△68	
増減率(%)	4.1	△66.5	△47.4	△56.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	10,715	1,582	1,523	1,468	58.70

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,500	1,100	1,000	900	35.98
今回修正予想(B)	17,000	240	270	220	8.80
増減額(B-A)	△1,500	△860	△730	△680	
増減率(%)	△8.1	△78.2	△73.0	△75.6	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	16,454	△439	663	691	27.64

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,700	10	10	0.40
今回修正予想(B)	7,889	△23	△1	△0.04
増減額(B-A)	189	△33	△11	
増減率(%)	2.5	△330.0	△110.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	10,395	1,067	1,037	41.47

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,600	220	200	8.00
今回修正予想(B)	16,100	50	10	0.40
増減額(B-A)	△1,500	△170	△190	
増減率(%)	△8.5	△77.3	△95.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	15,680	344	395	15.82

#### 修正の理由

現下の半導体メーカーやアッセンブリーハウス等の設備投資には、今ひとつ力強さがないものの、当社独自技術のコンプレッションモールド装置の市場浸透が徐々に進んでいることや、注力しているシングュレーション事業、リポート金型戦略等により受注高・売上高を補完できたことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は、計画を上回る結果となる見込みであります。一方、シングュレーション事業においては依然と製品の改良・改善が必要なことや、リポート金型は戦略的な売価設定となっていること、また、コンプレッション技術を用いた次世代の製品開発を積極的に展開したこと等が、当連結累計期間の売上原価を押し上げており、その結果、収益面においては計画を下回る見込みであります。

また、期初の段階では、年度後半にかけて後工程製造装置への投資が伸張するものと予想しておりましたが、下半期の半導体メーカーやアッセンブリーハウス等の設備投資は大きく落ち込むことはないものの、早期に積極的な姿勢に転じるとは想定し難く、当社グループの受注高・売上高が下半期に大きく伸張することは難しい状況と思われま。

以上のことから当社は、上記のとおり当第2四半期連結累計期間ならびに通期の業績予想を修正することと致しました。

以上